＜様式１１－１＞

令和4（2022）年度　学童クラブ事業年間活動報告書

小野児童館

	活動の基本目標（指針）	主な取組名	成果と課題
生活援助機能		衛生指導	
		道具の使用、片付け指導	４月に１年生の指導の機会を持つことで、遊具の使い方やルールが周知できている
	安全・衛生の確保	登館、下館時の安全指導	子どもの様子に応じて集団下館に付き添い、トラブルを未然に防ぐことができた
	健康の管理・情緒の安定	登館時の検温、手洗い	多くの子が習慣として身につけることができた
	基本的生活習慣の確立	外遊び後、食事前の手洗い・手指消毒	コロナ収束後も継続できるように工夫したい
	社会生活技術の獲得	食事マナーの指導	黙食等のルールは定着したが、コロナ収束後を見据えて新たな習慣を身に付けられるよう指導していく
		持ち物の管理指導	個人の持ち物の持ち帰り忘れが多く、保護者への連絡が多くなった。子ども自身が意識できるよう工夫したい
		挨拶励行	身に付いていない子が多い為、習慣として身につけられるよう職員が積極的に声かけをしていく
子ども育成機能		新入生歓迎会	３年生以上はもちろん、２年生も掲示物を作製するなどできる範囲で活躍できる場を作ることができた
		けんだまチャレンジ	例年夏以降に向上心が持続しないことが課題だったが、様々な職員が関わることで参加人数を定着させることができた
	生活体験の拡大	おたんじょうび会	月１行事の為、コンスタントに子どもが主体的に関わる行事として活かしていきたい
		館内案内	１年生を対象に丁寧に遊具や各部屋の約束事について指導ができた
		もしかめチャレンジ	けんだまチャレンジ同様、参加人数も定着し、新たにけんだまに親しむ子も増えた
		運動場あそび	気分転換や体力作りの機会が持てている
		けんだま総練習スタッフ会議	意欲的にけんだまに取り組んでいる子どもが活躍できる機会となった
		けんだま総練習	子どもスタッフの積極的な姿勢と準備もあり、１年生がじっくりけんだまに親しむことができ、魅力を伝えられた
	社会性の養成	交通安全教室	子どもたちの気持ちが緩む時期に実施できた。警察官が話してくださることで、緊張感をもって参加できた
		エコバック作り	買い物形式のおやつ前に導入として取り入れ、子どもがワクワクした様子で工作に取り組んでいた
		たなばた工作	七夕の作品や短冊を掲示し、保護者懇談会に参加した保護者に子どもの作品を見て頂く機会が持てた
		3年生以上学年会議	上級生としての心構えなどについてそれぞれの意見を交わし、上級生としての役割を整理できた
		２年生学年会議	改めて集団生活で過ごす上でのルールが確認でき、自分自身の振り返りができた
	自立の促進と自主性の尊重	１年生夏休み大作戦	初めて夏休みを迎える１年生のみを対象に持ち物や過ごし方など丁寧に伝えることができ、理解を深められた
		夏工作「あそんでつかえる！てづくりクリアファイル」	長い時間を過ごす夏休み中に取り組んだことで息抜きになった
		ハロウィン工作	子どもスタッフやチャレンジ就労体験中の中学生が指導役となり、異年齢の交流ができた
		避難訓練（水害）	山や川が近い地域の特性を考慮した内容を設定した。来年は雨天の続く時期に実施したい
		やんちゃワールド	３年ぶりに外部と関わる機会が持てた。初めての館外活動を心待ちにしている様子がみられた
		防犯教室	警察署で視覚的な教材を用意してくださり、子どもたちに理解しやすい内容だった
		人権のとりくみ	クラスの課題に合わせた題材を選んだことで子どもたちの心に響く取り組みができた
		クリスマス会実行委員会	クラスの中心である３・４年生が積極的に意見を出し合い、話合いを進められた。落ち着いて準備ができる環境設定が課題
		クリスマス会	去年の反省を活かした日時設定ができ、スタッフも達成感を得られる行事となった
		避難訓練（地震）	館外へ避難することで緊張感もって取り組めた。職員も役割分担を確認できた。
		昔あそび	少しづつ様々な遊びを体験することで新しい遊びに興味を持つよいキッカケとなった
		冬工作　“オリジナルポーチ”	子どもの生活になじんだ作品ができた。３月で退会する子にとっても学童クラブの記念品になった
		高学年会議	意欲的な子と消極的な子の意識の差を埋め、同じような意識が持てるように導きたい
		まとめの会	今年度の振り返りと来年度の意気込みを子ども同士と職員で確認し合うことができた
子育て支援機能		保護者懇談会	対面で子どもの様子を伝える機会が持てた。保護者同士の交流が持てる時間も設けたい
	子育てを支えるネットワーク	登録説明会	初めての取り組みだったが、直接伝えることで混乱が回避できた
	形成	新入生内定説明会	新入生の保護者と顔合わせができ、個別の事情や帰宅ルートの確認ができた
	子育てに必要な情報の提供	おたよりの配付	子どもから保護者へ行き渡っておらず情報が十分に伝わっていない。保護者の利便性を考慮しＩＣＴを活用していきたい
	と交換	連絡帳の活用	保護者とのこまめな連絡に活用できている
	子育ての仲間づくり	緊急メール配信の活用	リアルタイムの情報を伝えることで行事や〆切への保護者の意識が高まった

<様式１１－２>

令和4（2022）年度　学　童　ク　ラ　ブ　事　業　年　間　活　動　報　告　書

小野児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合　計	内　容
		１年	２年	３年	４年	５年	６年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
生活援助機能															
衛生指導	随時														登館時や食事前の手洗い・手指消毒の励行。トイレの使用方法の指導等
道具の使用、片付け指導	随時														共同で使用する遊具や個人のロッカーの整理整頓の声掛け等
登館、下館時の安全指導	随時														集団下館時のコースをクラス・門前にて確認。必要あれば付き添い
子ども育成機能															
新入生歓迎会	1	25	24	20	4	3	1							77	名前を呼んだり、上級生が出し物やプレゼントで新入生を祝った
けんだまチャレンジ	24	115	39	25	4									183	月一開催。検定を受けけんだまの上達を目指す
おたんじょうび会	12	324	317	269	36	10	6							962	月一開催。保護者のメッセージ入りカードやクイズで祝う
館内案内	1	31												31	１年生を対象に、児童館の案内とルールについて説明
もしかめチャレンジ	24	73	37	29	6									145	月一開催。もしかめの記録を数え、自分自身の記録に挑戦する
運動場あそび	38	792	742	627	101	24	23							2309	週一開催。小学校の校庭を借りて外遊びを楽しむ
けんだま総練習スタッフ会議	1		1	4	3									8	応募したこどもスタッフが役割分担し、準備を進めた。
けんだま総練習	1	29	28	14										71	子どもスタッフが中心となって１年生へけんだまの紹介と指導
交通安全教室	1	32	28	20										80	警察官より校区内の危険な場所や登下館時の注意点を指導
エコバック作り	1	9	12	11	2		1							35	買い物形式のおやつのグッズとして、新聞紙で袋を作製
たなばた工作	6	36	29	28	3	1	1							98	飾りや短冊を作製、掲示（保護者懇談会に合わせた）
3年生以上学年会議	1			26	4	1								31	３年生以上が参加。高学年としての役割や意気込みについて意見を交わす
２年生学年会議	1		28											28	２年生が参加。集団生活を送る上でのルールやマナーの確認
１年生夏休み大作戦	1	31												31	１年生が参加。初めての夏休みを前に持ち物やスケジュールの確認
夏工作「あそんでつかえる！てづくりクリアファイル」	5	19	20	17	4	1	1							62	クリアファイルにイラストを描き、絵が浮かび上がる仕掛けを楽しんだ
将棋週間	4	11	11	23	9	6								60	初心者も含め大会に向けて、じっくりと将棋に取り組んだ
将棋大会	1	6	4	10	3	2								25	週間に参加した子がエントリーし、トーナメント方式で対局した
ハロウィン工作	8	30	22	10	1									63	暗闇で光る折り紙でハロウィンモチーフを作製し、暗いスペースで楽しんだ
避難訓練（水害）	1	31	12											43	水害を想定し、垂直避難の練習。避難後、防災の紙芝居の読み聞かせ
やんちゃワールド	1			4	2		1							7	４ブロックのやんちゃワールドへ参加。会場の橘大学へ引率
防犯教室	1	28	18	17	1		1							65	イカのおすしや防犯ブザーの使い方を警察官より指導
クリスマス会実行委員会	1			15			1							16	子どもスタッフを募り、クリスマス会へ向けて準備、打合せ
クリスマス会	1	26	25	26	2		1							80	子どもスタッフが出し物や司会進行を担い、クラスで楽しむ
人権のとりくみ	1	21	20	20	2	1								64	人と人との関りの中でのルールを絵本を通して伝える
避難訓練（地震）	1	27	21	15	2		1							66	地震を想定し、館外への避難の仕方を確認する
昔あそび	1	24	24	22	3		1							74	あやとりやコマなど伝統的なあそびを体験
冬工作	8	31	27	22	3		1							84	ポーチにオリジナルハンコを押し、自分だけの作品を作製
高学年会議	1			10	3									13	来年度継続する３年生以上を対象に心構えなどを確認
まとめの会	1	19	19	15	2		1							56	一人一人の今年の振り返りと来年度の目標を設定
子育て支援機能															
保護者懇談会	2	4	3										37	44	子どもの様子や夏休みの生活について保護者へ伝える
登録説明会	5												32	32	ICT化に伴い、ウェブでの登録申請方法を説明
新入生内定説明会	5												33	33	内定家庭を対象に事務連絡や学童生活についての説明
おたよりの発行	随時											1		1	月ごとの予定やお知らせ、子どもの様子をお知らせ
連絡帳の活用	随時														毎日家庭と学童で確認。こまめな連絡に活用
緊急メール配信の活用	随時														緊急時の連絡手段や行事の出欠アンケートに活用

＊注１　　行事名は，（１）生活援助機能　（２）子ども育成機能　（３）子育て支援機能に分類して記入すること
＊注２　　２クラス以上の館所で，クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は，行事名と併せて，クラス名を記入すること